

BRAIN and NERVE 2021年9月号

特集

脳卒中治療に必要な基礎知識

脳梗塞の血管・血栓病理と血栓の形成機序

抗血小板薬と抗凝固薬

脳浮腫発生時の水循環とアクアポリン4

ラクナ梗塞の再考——Fisherの呪縛を超えて

大規模臨床試験を理解するうえで必要な統計的基礎知識

カテーテル治療に関わる新たな合併症とその機序

脳動脈瘤治療の新しい展開と基礎研究

山下 篤, 浅田祐士郎

北川一夫

石川智愛, 安井正人

小野寺 理, 他

新谷 歩

秋山武紀

佐藤大樹, 栗田浩樹

総説

FTLD 疾患スペクトラムに共通する病態としてのFUS機能不全

司法神経科学

石垣診祐

村松太郎

症例報告

筋萎縮性側索硬化症との鑑別を要したヒトTリンパ球向性ウイルス脊髄症(HAM)の1例 伏屋公晴, 他

連載

現代神経科学の源流

第14回 ノーム・チョムスキー【Ⅱ】

福井直樹×酒井邦嘉

脳神経内科領域における医学教育の展望——Post/with コロナ時代を見据えて

第1回 脳神経内科領域における医学教育の難しさと課題

下畑享良

スペシャリストが薦める読んでおくべき名著——ニューロサイエンスを志す人のために

第1回 脳神経内科医としての進路に大きな影響を与えた2編の書籍

楠 進

臨床神経学プロムナード——60余年を顧みて

第7回 筋萎縮性側索硬化症の学位研究をめぐって②

——内包後脚の体性機能局在(新説):大径有髄線維の存在

平山恵造

《新連載が開始します!》

【脳神経内科領域における医学教育の展望——Post/with コロナ時代を見据えて】

「医学教育学」なる分野が生まれるほど、現代の医学教育の発展と革新は目覚ましく、さらに新型コロナウイルス感染症のパンデミックによりパラダイムシフトが強いられ、いままさに臨床教育には大きな変革のうねりが押し寄せています。本連載では、「脳神経領域×医学教育領域」で活躍する筆者を迎え、現代の臨床教育を支える教育理論から、脳神経領域で指導にあたる指導医必読の教育トピック、ノウハウまでを幅広く取り揃え、実際に現場で指導医がどうするとよいのか、今後どのように適応する必要があるのか、実践例とともに指針となる情報を提示します。

【スペシャリストが薦める読んでおくべき名著——ニューロサイエンスを志す人のために】

スペシャリストがその極致に至るまでの人生史とは——その大きな礎となる書籍はどのようなものだったのでしょうか。本連載では、スペシャリストが思考を醸成させていく原点・基盤となった「読んでおくべき」名著を挙げ、それらが自身の考えや歩みにどう影響したのかをつまびらかにしていただきます。スペシャリストの思考や信条に触れることができるまたとない貴重な機会です。ぜひご自身の新たなステージの扉を開く鍵を手にとってください。